

2月例会

広島ブロック協議会会長公式訪問例会



「尾道の観光ビジネスを考える」と題して、尾道の現

2月15日(水)に本年度初の通常例会となる2月例会が西山別館にて行われました。

今回の例会は(公社)日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会役員団の皆様が公式訪問例会でもありました。

また、(社)福山青年会議所の皆様も駆けつけて頂き、例会開始前に国際アカデミー誘致のPRをしていただきました。



全国的な知名度は抜群に良いが、観光客の期待度が高いため、満足度においてはハードルが上がっています。また、尾道は地元有志の活動により5年に1度ぐらいの割合で全国的な映画ロケやドラマ撮影などに採用されており、また

ければならないと強く感じました。例会終了後には懇親会が開催され、(公社)日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会役員団の皆様方との交流を深めました。手塚淳三プロック会長及び各副会長より事業方針の説明があり、ブロック協議会メンバーの熱き思いが伝わってきました。我々が総務情報委員会からもプロック会長を始めとして多くのメンバーが広島ブロック協議会に出向しておりますので応援していきたいと思っております。(取材:池田)

例会テーマを「尾道の観光ビジネスを考える」と題して、尾道の現



委員会だより

未来ビジョン委員会

未来ビジョン委員会では、2月11日に千光寺公園にマイ桜の植樹を行いました！
幸いにも天候にも恵まれ、参加者のみなさまと共に10本の新たな息吹が吹き込まれました。4月には大勢の方の心を和ませ、笑顔を与えられることでしょう。当委員会では、1人はみんなのために、みんなは1人のためにといった心持ちで、今後の尾道のために、素敵な未来を描いていくお手伝いをしております。



委員 武田 大俊

未来の宝育成委員会

未来の宝育成委員会では、現在、来る3月例会と家族会の実施に向けてあわただしく準備を進めております。どちらのイベントも、われわれJCマンが良き社会人であるだけでなく、良き家族人たり得るために何が必要かを再確認できる機会になると思います。
榊原委員長、川口副委員長の下、フロアメンバー一同協力して事に当たってまいりますので、皆様宜しくお願いいたします。



委員 山脇 将司

社会開発委員会

社会開発委員会の浜中です。当委員会では、今年は主に祭りの事業を担当しています。3月になり、段々と春の陽気を感じる季節に入り、そろそろ本格的に、当委員会の出番が近づいて来ました。先日、福山JCさんの3月例会に参加させて頂き、偶然にも福山バラ祭りについての講演等の話を聞く事が出来、大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。当委員会では、現在みなと祭りについて始動していますが、来場してくれた、皆様が笑顔になれる様、頑張ります。ワッショイ!



委員 濱中 貴一郎

ビジネス開発委員会

本年度、ビジネス開発委員会に配属させて頂いております。政成啓行でございます。先日の2月例会においては、皆様のご指導・ご指摘のもと、推進リーダーを務めさせて頂くことができました。本当にありがとうございました。この後の事業にも、安本委員長をはじめとする委員会メンバーと共に精一杯取り組んでいきたいと思っております。本年度はまだまだ続きますが、皆様どうぞよろしくお願い致します。



委員 政成 啓行

拡大研修委員会

皆様、こんにちは！拡大委員会のいっつく山根です！2月とはいえ、年始の勢いそのまま、やる事は皆様山積みですね！尾道市も、2月には松江との姉妹提携都市を結び、自身たまたまですが、松江に行かせて頂き今後の様々な交流について、同業種の方々と語り合う機会も頂きました。広島空港から釜山への便も飛ぶということで、平谷市長も現地へ向かわれた様子。「繋がり感」を感じずにはいられませんね。この機会をどう捉えるか？拡大委員会に置き換えれば、JCの仲間が「繋がる」という意味……。この時期には12名の仮入会申し込みを頂いている状況です。もちろん、目標にはほど遠いですが……。それでも、何事も一歩踏み出す事からしか始まりません。目の前の方々、目の前の出来事、一つ一つ、一瞬一瞬を「キッチリ」と自分との約束を実践していきたいものです。もちろん、JC活動を通じて、これからの希望溢れるこの「尾道」という町、街……をもっと愛して頂けますようにこれからも内から外から「ガツガツ」邁進していきましょう!



委員 山根 浩輝

総務情報委員会

「縁の下の力持ち」に全うし総務情報委員会は日々活動しております。メンバー全員が村上理事長を中心に確固たる絆を深め合い、我々の委員会は人の目につかないところで、またメンバーのために支える苦労や努力を惜みず一年間通して活動して参ります。JCライフ・HPにも今後ドンドン魅力あるものを作るべく、委員会メンバー一丸となって力を注いで参りますので、皆様のご協力をお願い致します。



委員 麻生 裕雄

55周年実行特別委員会

皆様お疲れ様です。現在当委員会では記念式典・シーサイドパレードについて幡中実行委員長、川原・村上副実行委員長を中心に活動しています。55周年の節目をより一層素晴らしいものにすべく日夜奮闘しています。これからちよく皆様委員会にお邪魔させていただきますことでもありますので、皆様で盛り上げて素晴らしい節目を迎えましょう。



委員 加度 亮平

事務局

2012年度、セクレタリーを務めさせて頂いております。森石貴裕です。予定者の段階から本当に忙しい毎日を送っております。今年度はセクレタリーとしてすべての事業に参加して、少しでも皆様をサポートできるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



セクレタリー 森石 貴裕

編集後記

3月に入り、少しずつですが梅の花の開花が見られるようになり、尾道のシンボルツリー(ワメイヨシノ)の開花も待ち遠しい季節となってきましたね。と同時に、単年度制で体制が変わる青年会議所は、もう3分の1が終わろうとしております。毎月行われる各事業が今年度も盛り沢山ですが、何よりも大切なことは事業当日を迎えるにあたっての準備姿勢だと思えます。サクラの開花で癒える、休眠した花芽は、一定期間、低温にさらされることで眠りから覚め開花の準備を始めます。このことを「休眠打破」と云います。【開花前年の秋から冬にかけて一定期間低温にさらされる】このことが最も重要なポイントだと云われています。青年会議所の活動、運動も予定者段階から各委員長が練りに練った考えと熱い思いを常に持ち、全力で事業に取り組む事によって成功へと導かれるものだと思います。メンバー一丸となつて今後も頑張っていきたいと思います！

編集後記らしくなっておりますが、「ご了承ください」ではありませんが、「ご了承ください」

総務情報委員会 委員 麻生 裕雄



**2月合同委員会
副理事長パッチ授与式**

2月合同委員会では、安部副理事長、萩原副理事長、本多副理事長、幡中実行委員長、太田専務理事の5名に村上理事からパッチが授与されました。

その後、代表して安部副理事長、筆頭副理事長より、挨拶を頂きました。

(取材：山北)



まのみすマイ桜植樹



(取材：池田)

2月11日、千光寺公園にて2012年度おのみすマイ桜植樹会が開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、市内外から多くの方が参加されました。今年で4年目を迎える植樹会ですが、今年は展望台近くに高さ3メートルのソメイヨシノを10本植樹いたしました。

セレモニーでは、平谷市長の挨拶に続き、村上理事からも挨拶を頂き、参加者全員で記念撮影を行いました。

また、「家族の絆」記念樹として尾道青年会議所からも井上智仁君がご家族と共に管理者として植樹されました。

参加された方たち、子供たちも含め、熱心に植樹に取り組み、笑顔あふれる素晴らしい会となりました。

来年の春には今年植樹した桜が花を咲かせるといふことで、千光寺公園の桜を見に行き楽しみがまた増えました。



松江市・尾道市 姉妹都市提携調印式



2月5日に松江市内にて松江市尾道市 姉妹都市提携調印式が開催されました。

調印式前日に開催された松江J.Cとの懇親会では、今後のお互いの活動について熱く語り合い、松江J.Cとの熱い絆を結んでまいりました。

新入会員プロフィール

いけだ かずひろ 池田 憲泰

株式会社 池田 憲泰 代表取締役社長

■生年月日/1979年2月21日 ■会社名/(株)鉄道広告
■所属委員会/総務情報委員会 ■主推薦者/麻生 裕雄 ■副推薦者/今中 雅浩

かわはら けんすけ 河原 研介

新入会員、鳴滝工業の河原です。尾道JCに入会させていただいた経緯は、私の幼なじみである高垣現委員長(社会開発委員会)の半ば、ごり押しに近い勧誘によるものです。本会については当初、少々堅苦しく感じ、馴染めるかどうか不安でした。しかし、委員会の諸先輩方が親身に接してくださるので、その不安は今では嘘のように感じます。JC生活においては、一日も早く皆さんの仲間となれるように楽しんでいきたいと思っています。また私自身の成長も大いに期待しております。

■生年月日/1978年12月12日 ■会社名/鳴滝工業(有)
■所属委員会/社会開発委員会 ■主推薦者/高垣 利将 ■副推薦者/山根 浩揮

すぎのはら たけし 杉野原 猛

今年、新規入会致しました杉野原猛です。栗原で理美容院のカラーズというお店をやっています。幼児からおしりちゃんまで、3世代、老若男女問わず気軽にきて頂ける店をコンセプトにお店をやっております。機会があれば皆様のご来店よりお待ちしております。

J.Cは去年の夏、先輩に「今日だけ来てくれ」と何も考えずに行ったその日が仮入会の登録日でした。ものすごくいろんな不安があったのですが、いざ入会してみると、人生経験豊富な先輩方に、JC生活のアドバイスを頂いたり、仕事や人生の相談にまでついで頂き、止まっていた自分の成長が、最近では、少しずつですが、一歩一歩進んでいるのが実感できてきている今日この頃です。今は、JCライフをすごく楽しんでいます。あの時強引に誘ってくれた先輩に感謝しています。

仕事柄、行けない時もありますが、精一杯がんばりますので、皆さん、僕をかわいがってください。宜しくお願いします。

■生年月日/1978年7月18日 ■会社名/Colors
■所属委員会/ビジネス開発委員会 ■主推薦者/小林 輝久 ■副推薦者/安本 皇

輝くんの今月の1冊

1億3000万人の自然エネルギー 飯田 哲也(講談社)

昨年、震災から早1年経とうとしております。津波の被害も深刻ですが、福島原発の事故処理が本道に進んでいるのか、ということ、今月おすすめする本は「1億3000万人の自然エネルギー」の飯田哲也(環境エネルギー政策研究所)の著者を紹介させて頂きました。世界各国の自然エネルギー政策を分かりやすく数字で説明してくれています。例えば日本は年間23兆円を化石燃料の輸入につかっていたり、そんな中でも岩手県葛巻町はエネルギー自給率が200%!!皆さんご存知でしたか?

地域を元気にするのは電力の地産地消が最も効果的だと、小林輝久

シネマ尾道 今月のオススメ映画

古く東西問わず、人が一番恐れているのは「死」。実際、年を重ねると「死」と向き合う機会は増えていきます。主人公は、高度経済成長期に企業戦士として生きたサラリーマン。大企業の営業マンとして活躍し、定年を迎え第2の人生を歩み始めた矢先に、胃がんを告知されます。彼は残された家族の為、人生のダンディズムを貫くために、人生最後のプロジェクト「エンディングノート」を完成していきます。最後のプロジェクトのひとつ、長年寄り添った妻に結婚後初めて「愛してるよ」と伝えるシーンは、愛情以上の気持ちが溢れ、妻は「一緒にいきたい」と泣きじゃくる。夫婦っていいなあ。優しさや温もりがぎゅっと詰まった秀作です。3月23日・24日、砂田麻美監督舞台挨拶もあります。

河本清順

エンディングノート
監督：砂田麻美 出演：是枝裕和
公開期間：3月17日～4月6日

会場・お問い合わせ/シネマ尾道
尾道市東御所町6-2 TEL:0848-24-8222
HP:http://www.cinema-onomichi.com/

The 55th Anniversary

尾道青年会議所 創立55周年 カウントダウンインタビュー Part II

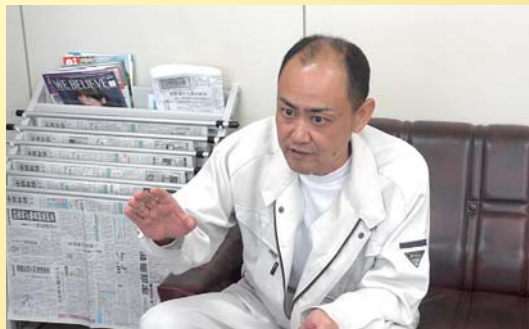


2008年度 第52代理事長
高垣 昌明

■テーマ **ちから**
■会員数 87名

Q 理事長当時の思い出は?

A まず、このたびインタビューの場所として尾道青年会議所事務局を指定させてもらいました。青年会議所活動をしていて長い時間をこの事務局で過ごしました。正副理事長会議で遅くまで話をしたことを始め、この場所には多くの思い出が詰まっています。事務局に来るといろいろなことを思い出します。そういう思い出があったので、あえてこの場所を指定させてもらいました。



私が理事長であった当時の思い出を振り返ってみると、今でも全ての事業を鮮明に覚えています。どの事業が特に思い出に残っているといううことはなく、自分のなかでは大きな事業も小さな事業も全部含めて1年間の思い出になっています。

縁あって理事長を務めさせてもらいましたが、二人で何かができる訳ではなく、支えてくれるメンバーがいたから理事長という大役を務めることができました。しかし、理事長の言動次第で組織全体が評価されることもあれば、逆に悪く見られてしまうこともあります。そのことは常に意識していた1年でした。

Q 55周年を迎えるにあたって

A どうしても55周年という周年の年度となると、大きな事業をどこかと打ち上げてやるという気持ちになると思います。しかし、長期的な視点で見ると、こういった組織を運営していくには内部的な体力が重要になってきます。大きな事業が続くと、自分たちの気付けないうちに組織的な体力が自然と落ちてきてしまい、次に大きな事業をやりたい時にやりづらくなってしまうと思います。50周年で大きな打ち上げ花火をあげた分、今回の55周年はそういった観点から変えていくべきところや維持すべきところなど、各々がそれを見極めながら時代にあつた事業展開をしていくべきだと思います。

Q 現役メンバーへのメッセージ

A 最近、怒るということをする人が少なくなってきたように思います。怒ること、嫌われることもあるし、すぐエネルギーを使うことです。しかし、「怒る」というのは、怒ることをする人が少なくなってきたように思います。怒ること、嫌われることもあるし、すぐエネルギーを使うことです。しかし、「怒る」というのは、怒ることをする人が少なくなってきたように思います。

Q 新入会員のみなさんへ

A 最後は新入会員のみなさんへ。今は分からないことだらけだと思いますが、尾道青年会議所の歴史や現状をいろいろ聞きながら、入会3日目までは知識を蓄えていってください。そして、3年日以降には理事などの役割を経験し、その蓄えた知識を思う存分使って活躍してほしいと思います。

新入会員(3名)

河井 茂
寺下 弘記
山根 浩揮

卒業生(10名)

小川 剛功
川原 一展
河本 泰行
木曾 孝康
佐々木 智朗
高橋 務
平橋 一
多田 真祥
前田 佳宏
山根 弘嗣
(敬称略)

主な事業

- ◆ 尾道みなと祭(TeamP Tour in おのみち)
- ◆ 尾道大物産展
- ◆ 提言書「経済発展を視野とした尾道のまちづくりにむけて」



2012年度 副理事長 **萩原 功**

本年度、社会開発室副理事長を仰せつかりました、萩原功で御座います。本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

この尾道青年会議所において、55年間実施されてきた事業ひとつひとつには、多くの先輩の知恵や情熱が注ぎ込まれています。それは、個人の力だけではなく多くの人のつながり、絆によって成り立つて来たことを鑑み、室のテーマを「こころ」と致しました。55年間培ってきた尾道青年会議所の皆の「こころ」をひとつにして事業に取り組みたいと思います。

当社会開発室は、社会開発委員会・ビジネス開発委員会の2委員会を担当しております。「社会開発」は青年会議所運動の根幹をなすものです。現在の尾道を冷静に分析し、尾道の活性化に必要なものはなにか、またそれに付随した観光クルメ、景観イベントをいかに自己完結したビジネスとして活性化させていくのか探求し、今必要とされる事業へと発展させていきたいと考えております。

2月には、ビジネス開発委員会がすでに2月例会を実施致しました。「尾道の観光ビジネスを考える」をテーマに、じゃらん中・四国版編集長の小田展正氏を講師にお招き致しました。「外から見た尾道」のお話を聞き、多くのヒントを頂戴致しました。このヒントを基にさらに考えを磨き、今後の社会開発事業に活かしていきたいと考えております。

55周年という節目にあたり、これまで携わったすべての皆様の「こころ」に感謝し、卒業予定者として最後の1年を全力で活動して参る所存です。今後とも皆様の御理解・ご協力をお願い致します。